



わたなべ ゆうきさん / 平成2年7月生まれ / 津別町役場勤務 / 達美在住

青春

くろーずあっぷ

この4月から津別町役場に勤めている渡邊悠貴さん。産業振興課農政グループに所属し、主に畜産関係の業務を担当しています。

遠軽町出身の渡邊さんは、遠軽高等学校から札幌国際大学に進学し、スポーツ人間学部でスポーツ関連の心理学や経済学、環境学などを勉強。大学卒業後は「地元根付いて、地域のために貢献できる仕事に就きたい」と考え、公務員予備校に1年間通ってオホーツク管内での公務員採用を目指しました。

新人職員としての抱負は、「今はまず、農家の方に顔と名前を覚えていただくことが一番だと思います。仕事をして行く中で信頼関係を築き、いつかは住民の方や同僚から『渡邊君に任せておけば安心』と言われるような職員になりたいです。」

高校時代は野球部に所属し、白球を追っていた渡邊さん。野外での活動が性に合っており、これから現場に行く機会が増える今の業務に、大いにやり甲斐を感じています。

温故知新

【434】

選手、責任者として
役場野球チームをけん引

小田島 利英 さん



おだじま としひでさん / 昭和7年9月、津別町生まれ / 81歳 / 幸町在住

42歳で始めたゴルフは今も現役で、シーズン中は毎週のようにコースに出ているという小田島利英さん。若いころは野球で鍛えたスポーツマンだけに、「コースで邪魔だと言われるまでは続けない(笑)」と意気軒昂です。津別町生まれの小田島さんは美幌農林学校(現・美幌高等学校)林業科を卒業後の昭和26年津別町役場に就職。以来、42年間にわたり様々な部署で力を尽くし、企画財政課長、総務課長などの要職を勤めました。

小学生時代から親しんだ野球です。役場の野球チームに所属し、投手兼主軸打者として奮闘。大会では、投手として2日で3試合完投というタフネスぶりを発揮し、打っては長打力を活かして逆転満塁ホームランという劇的な出来事もあったそうです。選手を退いてからはチームの監督、代表として若い世代のバックアップに回ります。代表を務めていた昭和46年に、役場チームと町内実業チーム合同で高松宮賜杯全日本軟式野球大会に出場。昭和51年には役場チームが道代表として佐賀国体に出場し、いずれも初戦を突破するなど堂々たる戦績を収めました。活動費が限られる中、金銭的な苦勞もあつたよつで、「長野県で行われた高松宮賜杯では、雨で試合が二日順延し、滞在費が尽きそうになって慌てました」と、懐かしそうに当時を振り返ります。

役場を定年退職後は、平成9年から3期12年にわたって津別町議会議員を務め、市町村合併問題などの難局に取り組みしました。また津別森林組合代表理事組合長、津別町交通安全協会の役員なども務め、長く地域の発展のために尽力されています。

地域おこし協力隊の「思い出」

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

「つべつの宝物」
「シゲチャンランド」



檜山 栄味子

こちらに来て飼った犬が白黒の牛模様の犬だったので「うしくん」と名付けました。ご近所さんにはベコと呼ばれています。

津別の空気の透明感に驚いた去年の夏、相生の「シゲチャンランド」に初めて遊びに行ったときのことです。澄み切った青空にそびえる真紅のサイロ、その鮮やかな組み合わせが見事で、見とれて立ち尽くしてしまいました。この赤が映えるのは、きっと空気の透明な津別ならではの。他の場所なら景観から浮いてしまいそうです。

シゲチャンランドの中には、赤ちゃんの笑顔のように無邪気で思わず微笑んでしまう作品や、無駄のない完璧な美しさの動物の骨の作品、ふつうはゴミになるものが美しく生まれ変わった作品などが溢れています。中でも一番印象に残ったのは、流木や一度役割を終えたものたちがシゲチャンと出会って、再び命を吹き込まれてあふれている場所。それが、森と人の住む街との境目の相生にあるのは、びったりなんだと思います。

最近、阿寒方面から相生に帰る途中、森が途切れて最初に現れる建物がシゲチャンランドだということに気づきました。流木や一度役割を終えたものたちがシゲチャンと出会って、再び命を吹き込まれてあふれている場所。それが、森と人の住む街との境目の相生にあるのは、びったりなんだと思います。

暮らしを支える 税 町道民税の均等割額の増額について

東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律を受けて、平成26年度から平成35年度までの町道民税の均等割額が、4千円から5千円に変わります。

ご理解の程よろしく願います。

町税の納付には、口座振替制度のご利用を

町の税金は、津別町役場、北見信用金庫、網走信用金庫、津別町農業協同組合、北洋銀行、北海道内全ての郵便局で納付することができますが、『日中はなかなか金融機関に行けない』『納付を忘れてしまう』等の方は、口座振替制度をご利用ください。

口座振替を利用するためには、町内の金融機関又は北洋銀行美幌支店、道内各郵便局での手続きが必要です。手続きの際には、預金通帳、印鑑、納税通知書をご用意下さい。

なお、口座振替の手続きをされた日によっては、直後の納期限に間に合わない場合がありますので、手続きの際には金融機関にご確認をお願いします。